科目ナンバリング	U-LAS51 10030 SB48						
授業科目名 <英訳>	アクティブリスニング（全・英）-E3 Active Listening (All Faculties, English)-E3			担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 特定講師 佐藤　龍一		
群	キャリア形成科目群	分野(分類)	国際コミュニケーション		使用言語	日本語及び英語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	火5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本科目は、英語による講義を履修するために必要となるリスニング能力の育成を目的とする。リスニング能力の育成では、語・文レベルでの聴解力を重視するボトムアップ型と、背景知識や文脈などを活用した意味理解を重視するトップダウン型の両方を組み合わせる。リスニング能力の向上により、主体的に英語での講義に参加できることを目指す。

[到達目標]

本科目は、以下の3つを到達目標として定める。この科目が修了する時点で受講生が以下の能力を身につけることを目標とする。
(1)英語の音声的特徴（母音、子音、リズム、イントネーション、連結、脱落、同化など）を分析的に理解し、その知識をリスニングの際に利用することができる。
(2)文脈や背景知識、発話の状況を活用して、次にくる情報や内容などを予測したり、自身の理解を修正したりする方法を身につけ、その方法をリスニングの際に利用することができる。
(3) 英語の概論的講義 (10-20 分程度）を聞いて、その概要や要点を的確に把握することができる。

[授業計画と内容]

本授業のねらいは、授業に参加する皆さんが、将来的に英語を介した対人コミュニケーションで意思疎通ができるようになるために必要なリスニング力を身につけることです。そのため、試験問題に出てくるような音声を聞いて正答を選択するような問題を授業内で繰り返し行うことはありません。代わりに、英語で話されているコンテンツを聴いたり、グループ活動等でコンテンツの内容について会話をしたりと、実際のコミュニケーションに慣れるための活動を行います。これらの活動中には、より正確な英語の発音ができるようなトレーニングも行います（発音できない音は聞き取ることが難しいためです）。

[使用言語]
英語と日本語。授業ルール等の重要な説明は英語で行い逐次日本語で説明をします。わからないことは、日英どちらの言語でもいいので、必ず質問してください。

[教材]
　この授業では、学術英語の特徴を理解するために、様々な文脈の英語使用を比較しながらすすめます。授業ではYoutubeやTEDトークなどを使い、日常英会話やビジネス英会話 、ニュース、アカデミックなトピックなど、様々なジャンルのコンテンツを取り入れた音声教材を扱います。これら音声教材の詳細は授業初日に紹介します。
　教科書（下部「教科書」欄参照）の使い方は初回授業で詳述します。

[期末試験]
　期末試験は二つで構成されます。一つ目は、１３週目に行う筆記テストです。授業時間内に教員が提示する動画を視聴し、日本語か英語の要約を書きます。二つ目は１４－１５週目 に行うショートスピーチです。単独でやっても、パートナーでやっても構いません。単独で行う場合は、自身が

アクティブリスニング（全・英）-E3(2)へ続く↓↓↓

今後研究したい分野の謎について、プレゼンテーションします。パートナーで行う場合は、実際のアカデミックな状況でのコミュニケーションシナリオに基づいたスクリプトを作成し暗唱します。パートナーの作り方 については適宜授業内で相談しましょう。単独・パートナー、いずれの場合も担当教員の前で個別に行います(授業内で大勢の前で行うことはありません)。

[授業計画]
第1週：授業計画、授業ルール、教材、評価方法等の確認
第2週：リスニングの基本原則についての説明（母音と子音）
第3週：TED Talkに学ぶ英語のスピーチ(リズム)
第4週：異なる国や地域の英語 ―アカデミックな英語とは？（イントネーション）
第5週：ピコ太郎のPPAP：日本語と英語の音声的特徴 (連結)
第6週：英語のニュースは早口に聞こえる？(脱落)
第7週：英語でカラオケをしてみましょう (同化)
第8週：アメリカ英語はムズすぎて聞こえん―担当教員の留学経験談 (弱形とラ行化)
第9週：Speech Recognitionをつかって発音をチェック
第10週：パートナーとのスクリプト調整 ―授業内相談会
第11週：スクリプトの発音練習と個別指導I
第12週：スクリプトの発音練習と個別指導II
第13週：期末試験:ショートスピーチI
第14週：期末試験:ショートスピーチII
第15週：期末試験:筆記試験
第16週：フィードバック

第1週の授業は、シラバスの読み合わせをしますが、特に授業ルールについては非常に重要なので、質問があれば積極的に聞いてください。出席や評価等、初回授業で設定したルールは、以降例外なく変わりません。初回の授業には必ず出席し、授業ルールや全体計画について理解を深めてください。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

(a) 毎週の課題(ポートフォリオ)：到達目標の (1)と(2)の基礎 (40%)
(b) 授業内ショートスピーチ：主に到達目標の (1)と(2)の応用 (30%)
(c) 期末試験: 到達目標の(3)　(30%)

[教科書]

深澤俊昭 『英語の発音パーフェクト学習事典（改訂版）』（アルク 2015年）ISBN:978-4-7574-2613-9

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

（関連ＵＲＬ）

https://www.i-arrc.k.kyoto-u.ac.jp/english/tips/contents_jp#frame-322(英語リスニング力を向上させるために)
https://www.i-arrc.k.kyoto-u.ac.jp/english/soundfeatures(英語音声の特徴：口語英語の音声変化)

アクティブリスニング（全・英）-E3(3)へ続く↓↓↓

アクティブリスニング（全・英）-E3(3)

https://www.i-arrc.k.kyoto-u.ac.jp/english/interviews_jp(京都大学自律的英語ユーザーへのインタビュー)
https://www.i-arrc.k.kyoto-u.ac.jp/english/websites_jp(自律的学習に有益なウェブサイトやアプリを探すためのデータベース)
https://www.i-arrc.k.kyoto-u.ac.jp/english/consultation_jp_FAQ(英語学習相談：よくある質問)

[授業外学修（予習・復習）等]

毎週必ず期末試験に向けた進捗の報告をしてもらいます。各週の題目は授業内で提示しますが、概して「スクリプトの内容決め」「スクリプト作成」「スクリプトのチェック」「発音についての質問」等について、ポートフォリオを作成し提出します。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィス・アワーの詳細は初回授業で提示します。

お遊びのつもりで授業は行いませんが、言語学習はそもそも楽しくないと身につきません。自分にとって実りのある学習にするためには、目的意識をもって取り組んでください。また、そもそも英語学習の目的自体を見直したい人も多いと思います。担当教員は、紆余曲折を経て英語教師をしています。英語学習についての相談には積極的にのりますので、どうぞオフィス・アワーをご利用ください。